

# 令和3年度

## ふくしま海洋科学館

### ゲストティーチャー募集要項



#### 1 概要

福島県内の学校に当館の職員が伺い、水族館ならではの授業をします。水生生物や自然環境に関するレクチャー、実験や観察、調査の支援など、学校の教育的ニーズに応えながら対応し、”子どもたちが自分から「自然の扉を開く」”そのお手伝いをします。

#### 2 対象 福島県内の学校及び教育施設等

#### 3 実施期間 通年

#### 4 申し込みについて

- (1) 締め切り 実施希望日の1か月前
- (2) 提出書類 「ふくしま海洋科学館 ゲストティーチャー申請書」
- (3) 申込手順 ① 命の教育チームに電話で連絡し、日程や内容の確認をする。  
② 申請書に必要事項を記入して提出する。(郵送or持参)



#### 5 問い合わせ及び申し込み先

ふくしま海洋科学館 命の教育チーム

TEL : 0246-73-2539

FAX : 0246-73-2527

#### 6 授業例

##### (1) 小学校

対象学年	教科	「単元名」	○学習内容例
小1年	国語	「うみのかくれんぼ」	○ ハマグリ・タコ・モクズシヨイなど、いろいろな生き物の生態やかくれかたなど、映像や実物の観察を通して学習することができます。
小2年	国語	「どうぶつ園のじゅうい」	○ アクアマリンふくしまで働く獣医が、どのような仕事をしているか、映像や写真を通して学習することができます。
小1・2年	生活	「生きものとなかよし」 「生きものなかよし大作戦」	○ 海にすむ身近な生き物にさわったり観察したりすることで、生き物のおもしろさを学習することができます。
小3年	理科	「こん虫を調べよう」	○ 川にすむ水生昆虫を紹介し、からだのつくりや生態について学習することができます。
小3・4年	社会	「かわってきた人々の暮らし」	○ 昔から使われてきた道具を使って鯉節を削る体験などを通して、日本の伝統的な食文化を学ぶことができます。
小4年	理科	「動物のからだのつくりと運動」	○ 人間や魚などのからだのつくり(骨や筋肉など)を比較することで、生き物がからだを動かすしくみなどについて学習することができます。

小5年	理科	「魚のたんじょう」 ○ メダカのからだのつくりや特徴を知り、メダカの育て方を学習することができます。
小5年	社会	「わたしたちの生活と食料文化」 ○ 福島県やいわき市の水産業の特色や、持続可能な水産資源の利用などについて学習することができます。
小6年	理科	「動物のからだのはたらき」 ○ 人間と魚のからだの中のつくり（内臓など）を比較し、生き物が生きるために必要なからだのはたらきについて学習することができます。

(2) 中学校

対象学年	教科	「单元名」 ○学習内容例
中1年	理科	「植物の世界」 ○ コケ植物の種類や生態、自然界での役割について、観察などを通して学習することができます。
中1年	理科	「身近な生物を観察しよう」 ○ その日の朝に採集した小名浜港に生息しているプランクトンを、顕微鏡などで観察することができます。
中2年	理科	「動物の生活と生物の変遷」 ○ イカのからだを解剖し、観察などを通してイカの生態について学習することができます。
中3年	理科	「自然と人間」 ○ 外来種の種類や、外来種が自然に及ぼす影響について、剥製の観察などを通して学習することができます。

(3) 小・中学校共通

対象学年	教科	「題材・テーマ」 ○学習内容例
小・中 全学年	学活	「震災を学ぶ」 ○ 東日本大震災でのアクアマリンふくしまの被害状況や復興までの道のりなど、映像を交えて紹介します。
	総合	「環境学習」 ○ 海洋プラスチックごみの現状と環境や生物に及ぼす問題についての紹介を通して、環境保全の大切さを学ぶことができます。
	道徳	「職業について考える」 ○ アクアマリンふくしまで働く飼育員の仕事内容の紹介を通して、その工夫や努力、将来の職業観などについて学ぶことができます。

7 その他

- (1) 申請書は、当館ホームページ (<https://www.aquamarine.or.jp/education/guest-teacher/>) よりダウンロードしてください。
- (2) 上記6は、教科書の内容に準じた授業例を紹介しています。それ以外の授業内容でも対応可能であれば実施しますので、ご相談ください。
- (3) 授業内容によっては、材料等の費用を負担していただくことがあります。
- (4) 繁忙期や、館内学習等と日程が重なる場合は対応できないことがあります。
- (5) 新型コロナウイルスの感染状況により、中止または延期することがあります。